

定例公安委員会の開催状況について

令和7年5月15日に定例山形県公安委員会が開催されました。議事の概要は次のとおりでした。

1 定例会報告事項

(1) 6月の行事予定

6月の行事予定について報告があった。

(2) 警察活動における無人航空機の活用に関する協定の締結予定について

警察活動における無人航空機の活用に関する協定の締結予定について報告があった。

委員から、人命救助等の警察活動にドローンを積極活用することで、これまでの活動では得られなかった情報等が入手できるようになり、迅速な事案対応が期待できる旨の発言があったほか、ドローンに関する技術等のノウハウを持つ民間業者と連携することで、警察のドローン活用の促進にもつなげていただきたい旨の発言があった。

委員から、警察業務にドローンを活用することは、業務の効率化にも有用だと感じており、民間業者のドローンには、高性能なものもあるので、今回の協定を契機に、警察活動の高度化にもつなげていただきたい旨の発言があった。

委員から、警察業務へのドローンの積極活用については、以前から注目していたため、今回の協定締結は高く評価しており、協定締結による成果を期待する旨の発言があった。

(3) 新隊員白バイ訓練の実施について

新隊員白バイ訓練の実施について報告があった。

委員から、機動性が高い白バイの特性を生かせるように、訓練を積んでいただきたい旨の発言があったほか、取締りに当たっては、悪質な違反を看過しないのはもちろんだが、交通事故防止に効果がある取締りかどうかを検討していただきたい旨の発言があった。

委員から、白バイ隊員の訓練は、大変厳しいものと理解しているが、必要な訓練であることから、十分な訓練を行うとともに、新隊員の育成に努めていただきたい旨の発言があった。

委員から、本県警察の白バイ隊員は、全国警察の大会で素晴らしい成績を残しており、子供たちの憧れの存在でもあることから、しっかりと訓練し、その成果を日頃の活動で示していただきたい旨の発言があった。

(4) 令和7年度機動隊・第二機動隊水難救助訓練警察本部長査閲式の実施について

令和7年度機動隊・第二機動隊水難救助訓練警察本部長査閲式の実施について報告があった。

委員から、頻発化、激甚化している近年の自然災害への的確に対応するため、本部長査閲により日頃の訓練等の成果を確認することは重要である旨の発言があったほか、今回の査閲式は、警察が、自然災害時の警備活動における過去の教訓を踏まえ、しっかり取り組んでいこうとする姿勢の表れと理解している旨の発言があった。

委員から、今回のような警察による訓練の様子は、マスコミでは度々取り上げられるが、県民が目にする機会は少ないことから、是非、一般の人にも訓練の様子を見てもらいたい旨の発言があった。

委員から、今回の会場は、水難救助訓練を行う上で最良な場所であると思う旨の発言があったほか、大がかりな訓練メニューとなっているが、参加隊員にとって有意義な訓練としていただきたい旨の発言があった。

2 個別審議等会議

○ 運転免許行政処分審査

警察本部から、運転免許の取消処分に係る意見の聴取、聴聞結果について決裁を受け、決定した。

○ ストーカーの禁止命令について

警察本部から、ストーカーの禁止命令について決裁を受け、決定した。

○ 監察案件について

警察本部から、監察案件について報告があった。